望郷 40 周年記念（平成 30 年） ふるさと大滝の集い 報告 その-1

――平成 30 年大滝の春・大滝の詩、山神社・記念碑の経緯――

報告：理事　伊藤弘治
理事　鹿摩貞男（特別会員）

はじめに

今年の大滝会定期総会は、望郷 40 周年記念「ふるさと大滝の集い」として平成 30 年 5 月 20 日（日）に福島市飯坂町で盛大に開催されました。昭和 53 年（1978 年）10 月に、大滝集落に残っていた最後の４世帯が離村、明治 10 年（1877 年）頃に始まった伝えられる大滝集落 100 有余年の歴史に幕を閉じています（渡辺正義さん、翌年昭和 54 年 5 月まで個人的に滞在）。爾来（じらい）40 年、全国に散った大滝の旧住民の方々は望郷の念やみがたく節目の年に記念の行事を開催してきました（後述参照）。望郷 40 周年記念を迎えた今年もまた北は北海道、南は九州長崎から 40 名近くの方々にお集まり頂きました。集合場所は飯坂支所飯坂学習センターです。**（写真－1①～③）**

写真－1①　飯坂学習センター（飯坂支所）全景

写真－1②　学習センターから吾妻連峰を望む。
小富士の雪兎もダンゴに変わる。

写真－1③　受付風景（飯坂学習センター2 階大会議室）

今回の記念行事は、平成 30 年度定期総会（福島市役所飯坂支所飯坂学習センター）、ふるさと大滝訪問（旧大滝集落現地）、記念祝賀宴会（奥飯坂 摺上亭大鳥）と 3 部構成でおこなわれました。次にそれぞれについて写真を中心として報告します。

なお、附録として「平成 30 年大滝の春 写真集」（附録 1）、「大滝四季の歌　全歌詞」（附録 2）、大滝の文芸から詩「駄賃付馬子唄」（昭和 52 年 1 月、奥野ミサオ）と漢詩「郷碑建立十年に賦す」（平成元年 10 月、斎藤源右エ門）（附録 3）を巻末に、別添解説資料として「大滝山神神社（大山祇神社）について」と「大滝記念碑について」を添付した。

平成 30 年度大滝会定期総会

定期総会は例年ですと、5 月のはじめ連休の期間に観桜会を兼ねて開催しているけれども、今年度は記念行事に合わせての開催となりました。今回は、定例の事業・会計報告に加えて規約の改定、役員改選もおこなわれました。以下総会について報告します。

【総会次第】

日時　　平成 30 年 5 月 20 日（日）　午前 10 時 20 分～11 時 30 分

場所　　福島市役所飯坂支所飯坂学習センター　2 階大会議室

次　　第

開会　　司会兼議長	理事	伊藤弘治
開会の言葉	副会長	高野英治
挨拶	会　長	木村義吉
議事		
1. 会則の改定	議長（司会者）	
2. 新役員紹介	議長	
3. 新役員挨拶		
4. 平成 29 年度の事業報告	副会長	柾木新吉
5. 平成 29 年度の会計報告	理　事	斎藤正美
6. 平成 30 年度の事業計画（案）	副会長	柾木新吉
7. 平成 30 年度の予算計画（案）	理　事	斎藤正美
8. その他		
9. 閉会の言葉	理　事	須田信男

総会は、上記次第に基づき進行しておりますがその模様を簡単に紹介しておきます。司会（兼議長）は伊藤理事が務めています。

最初に高野英治副会長の開会の言葉があり、続いて木村義吉会長から挨拶がありました。

会長からは、今回の記念行事の意義や取り組み状況の報告、総会や本日の予定等についてお話しがありました。総会会場の飯坂学習センターの前身中野公民館と大滝会の関わりについても説明がありました。また、前会長紺野健吉さん（相談役）が今月（5 月 4 日）満 100 歳の誕生日を迎えられるということで高野副会長と共に記念の花束を贈呈されたことも報告されました(5 月 3 日)。紺野前会長は大変喜ばれていたとのことです。

大滝会会則は昭和 54 年 10 月の制定以来 39 年ぶりの抜本的改訂となりました。時代に即した新しい会則となり満場一致で承認されました。

役員改選では、会長に木村義吉さん、副会長に高野英治さん、渡辺正義さん、柾木新吉さん（会計兼務）が満場一致で再選されました。木村会長からは役員の若返りについてご提案がありましたが今回は間に合わなかったようです。

なお、会則全文･他の役員等については下記サイトをご覧下さい（当大滝会ＨＰ）。

http://ootaki.xsrv.jp/kaisoku.html　「大滝会会則ならびに役員」

平成 29 年度事業・会計報告、平成 30 年度の事業・予算計画についても満場一致で承認されました。以上総会は滞りなく議事が進行し、須田信男さんの閉会の言葉で終了しました（11 時 30 分)。**(写真－2①～⑤)**

写真－2①　総会開始　司会伊藤弘治理事

写真－2②　木村会長挨拶（柾木新吉さん提供）

写真－2③　木村会長挨拶

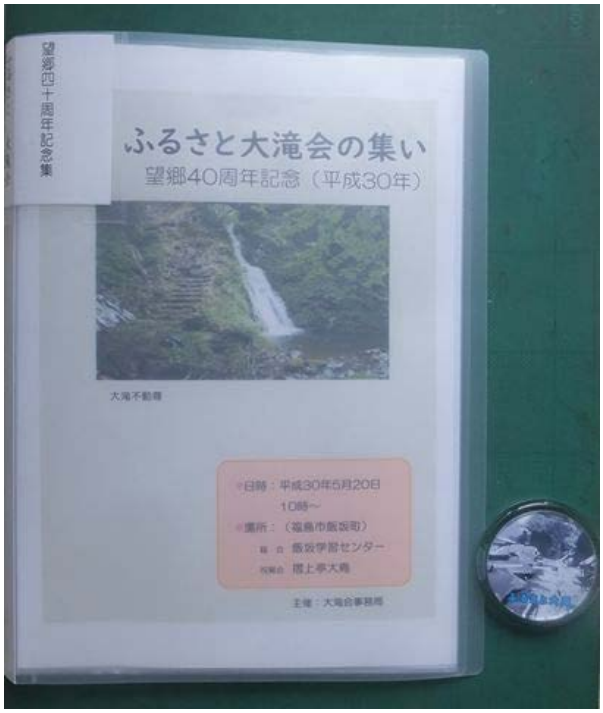
写真－2④　議事進行（柾木新吉さん提供）

写真－2⑤　質疑応答

当日は、木村会長手作り編集の「望郷 40 周年記念集（ファイル）」、須田信男さんご提供の「マグネットホルダー（大滝集落写真入り）」が皆様に配付されています。面倒な編集作業やご高配に深く感謝申し上げます。また、本日行事の諸準備にあたられた役員の皆様にもお礼申し上げます。

（写真－3①）

総会終了後は同会場で昼食を済ませ、摺上亭大鳥（祝賀式会場）差し回しのバスに乗り込み旧大滝集落に向かいました。（写真－3②）



写真－3①　「望郷 40 周年記念集（ファイル）」（木村会長編集）と
記念のマグネットホルダー（須田信男さん提供）

写真－3②　ふるさと大滝へ出発

【参考　大滝会記念行事等経緯】

大滝集落の閉郷後から現在までの主な大滝会記念行事等について整理してみた。

(1)　大滝記念碑除幕式並びに物故者合同慰霊祭　**(参考写真－1①)**

昭和 54 年（1979 年）10 月 14 日（日）

福島市飯坂町中野字大滝・　大滝分校下　教員宿舎跡地

参考写真－1①　大滝記念碑除幕式記念写真　S541008（大滝会 HP より）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page085.html　（大滝記念碑建立までの経過）

（当日配付資料『大滝記念碑除幕式並びに物故者合同慰霊祭』）

・http://ootaki.xsrv.jp/page117.html　（大滝記念碑建立時の記録写真）

（当日行事状況　柾木新吉様提供写真）

(2)　記念碑建立十周年記念　ふるさと大滝を偲ぶつどい（**参考写真－1②**）

平成元年（1989 年）10 月 14 日（土）～15 日（日）

14 日　飯坂温泉　旅館　清山

15 日　旧大滝集落訪問

参考写真－1②　望郷 10 周年記念　ふるさと大滝を偲ぶつどい　H011014（半田サキさん提供、大滝会 HP）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page098.html　（記念碑建立十周年（離郷十周年）記念行事）

（当日配付資料『記念碑建立十周年記念　ふるさと大滝を偲ぶつどい』）

・http://ootaki.xsrv.jp/page134.html　（離郷十周年記念『ふるさと大滝を偲ぶつどい』）

（当日行事状況　ビデオのキャプチャー）

・http://ootaki.xsrv.jp/page144.html　（半田サキ様からの投稿写真―2）

（旅館集合記念写真等）

（3）離郷回想 20 周年記念　大滝出身者の集い（参考写真－1③）

平成 10 年（1998 年）10 月 11 日（日）～12 日（月）

11 日　福島市飯坂町中野字大滝・大滝分校（上）跡

飯坂温泉（湯野）　ホテル叶や

「離郷回想２０周年記念」大滝出身者の集い　　平成１０年１０月１１日

参考写真－1③　離郷回想 20 周年記念　　中央、東屋沼神社宮司樋口重雄様　H101011（大滝会 HP より）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page042.html　（大滝出身者の集い記念誌）

（当日配付資料『[離郷 20 周年記念]大滝出身者の集い』）

・http://ootaki.xsrv.jp/page132.html　（離郷 20 周年（平成 10 年））

（当日行事状況　木村義吉様提供写真）

（4）望郷 25 周年記念　大滝会（**参考写真－1④**）

平成 15 年（2003 年）10 月 13 日（月）～14 日（火）

13 日　旧大滝集落訪問

飯坂温泉　ホテル叶や

14 日　摺上川ダム工事見学

参考写真－1④　望郷 25 周年記念大滝会　H151011（大滝会 HP より）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page123.html　（望郷 25 周年記念大滝会の集い）

（当日の案内状「望郷 25 周年記念大滝会のご案内について」、当日の配付資料「望郷 25 周年記念大滝会進行次第」、記念写真）

・http://ootaki.xsrv.jp/page124.html　（望郷 25 周年記念写真）

（当日行事状況　柾木新吉様提供写真）

（5）大滝山神神社遷宮（再建）除幕式（**参考写真－1⑤**）

平成 18 年（2006 年）10 月 18 日（日）

福島市飯坂町中野字大滝・大滝山神神社

参考写真－1⑤　大滝山神神社遷宮（再建）除幕式 H181008（高野英治さん提供）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page064.html　（大滝の山神様）

（状況写真）

・http://ootaki.xsrv.jp/sintorii.html　（山神神社　鳥居新築成る！）

（当日状況写真　渡辺文朝様提供写真）

・http://ootaki.xsrv.jp/page130.html　（大滝山神神社　旧社殿の顔を保管管理）

（状況写真　伊藤弘治様提供写真）

(6) 望郷 30 周年（第 5 回）大滝出身者の集い **（参考写真－1⑥）**

平成 20 年（2008 年）10 月 5 日（日）～6 日（月）

5 日　中野山大正寺（中野不動尊）合同慰霊

旧大滝集落訪問　東北中央自動車道工事見学

飯坂温泉　ホテル叶や

参考写真－1⑥　望郷 30 周記念年大滝会の集い（東北中央自動車道大滝トンネル見学）　H201005（大滝会 HP より）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page111.html　（大滝望郷 30 周年記念行事）

（当日行事状況　伊藤弘治様提供写真、望郷 30 周年大滝会進行次第）

・http://ootaki.xsrv.jp/page113.html　（大滝望郷 30 周年記念行事ご祝辞）

（小松昭大先生、半田サキさんの祝辞全文）

（7）第 1 回大滝分校の集い（**参考写真－1⑦**）

平成 22 年（2010 年）7 月 17 日（土）～18 日（日）

17 日　福島市飯坂町中野字大滝・大滝分校（上）跡

（S22～S26 生まれ対象、記念植樹･昼食会）

飯坂温泉　ホテル花の湯

参考写真－1⑦　第 1 回大滝分校の集い　H220717（大滝会 HP より）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/page006.html　（「大滝分校の集い」昼食会）

（8）望郷大滝会 35 周年記念ふる里大滝の集い（**参考写真－1⑧**）

平成 25 年（2013 年）5 月 3 日（金）～4 日（土）

3 日　福島市飯坂町中野字大滝・大滝分校（上）跡

飯坂温泉　伊勢屋

参考写真－1⑧　望郷 35 周年記念大滝の集い
H250503（大滝会 HP より）

関連サイト（当大滝会ＨＰ）

・http://ootaki.xsrv.jp/35nenn.html　（望郷 35 周年記念ふるさと大滝の集い）

（当日行事概要、状況写真）

(9) 望郷大滝会 40 周年記念ふるさと大滝の集い（今回）

平成 30 年（2018 年）5 月 20 日（日）～21 日（月）

20 日　飯坂学習センター

ふるさと大滝訪問

奥飯坂　摺上亭大鳥

※備考　【大滝会総会等経緯】

大滝会は、昭和 54 年 10 月 14 日（大滝記念碑除幕式並びに物故者合同慰霊祭当日）に会則を定め正式に発足したものと考えられる（初代会長紺野健吉）。大滝地区の環境整備とその再興（万世大路や史蹟の保存活用）、氏神大滝山神神社の管理、会員の相互親睦を図ること等を目的とし、のちに述べる「大滝部落閉郷前後処理委員会」の活動を引き継ぐものと思われる。

現在（平成 30 年（2018 年）5 月）、木村義吉会長（相談役：紺野健吉（前会長）、須田和市（元会長））、会員数約 120 名。（会則の目的等について平成 30 年 5 月に大幅に改訂されているが趣旨は同じである。）

大滝会の定例総会は、昭和 55 年（1980 年）5 月 4 日開催以降はほぼ毎年開催されているところである（於福島市飯坂町中野字大滝・旧大滝集落大滝分校跡）。

なお、正式大滝会発足に先駆けてその前身となる大滝会の第 1 回目は昭和 49 年（1974 年）2 月に飯坂温泉で開催され、第 2 回目は大滝集落開郷 100 年目にあたる昭和 52 年（1977 年）の 2 月 19 日に開催されている（飯坂温泉（湯野）福島県婦人会館　**参考写真－1⑨**）。

参考写真－1⑨　第 2 回大滝会総会（飯坂温泉(湯野)福島県婦人会館）S520219（半田サキさん提供・大滝会 HP より）

昭和 52 年 1 月には大滝集落の歴史を取り纏(まと)めた『わが大滝の記録』が刊行され、その翌年の昭和 53 年（1978 年）10 月大滝集落は閉郷した。昭和 54 年 10 月には「大滝記念碑」が建立された。（参考：大滝会『望郷 35 周年記念誌』、大滝会 HP 管理人紺野文英氏資料等）

ふるさと大滝訪問（旧大滝集落現地）

この日の天候は、前日まで数日間続いた雨模様のぐずついた天気と打って変わり、抜けるような青空の広がる快晴となる。大滝訪問を予定していたこの日も雨が続くのではないかと心配していたが杞憂(きゆう)（無用の心配をすること）に終わる。

摺上亭大鳥差し回しのバスと自家用車数台に分乗して 12 時半過ぎにふるさと大滝に向かう。

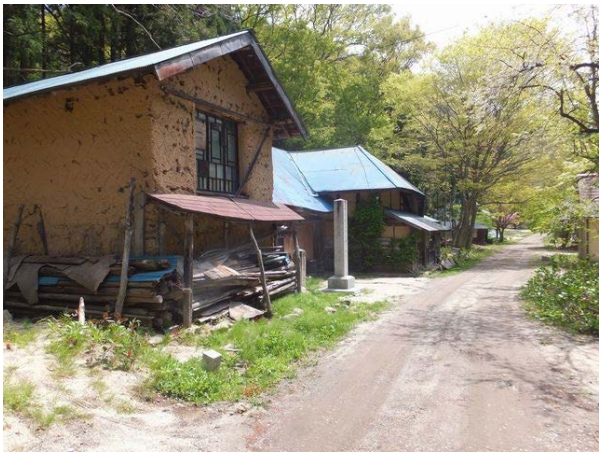
我等のふるさと大滝集落は、前述の通り昭和 53 年 10 月に閉郷し当時の家屋として現在も残っているのは、渡辺正義さん旧宅（旧中屋旅館、明治 14 年 10 月 3 日、明治天皇がご小休された当時のまま）と東隣の渡辺清治さん旧宅（明治末建築か）との 2 棟だけである。あとは更地になっていて往時の面影といえば村内を走る旧国道 13 号（万世大路）とそれに架かる橋梁、それに山や川ということになるだろうか（**参考写真－2①～⑥**）

参考写真－2①　大滝地区全景、共同墓地から望む。
左端の道路が赤岩道、
手前の道路は旧国道 13 号。
昭和40年代前半（栗子ハイウエイ S41・5 開通後）。（柾木新吉さん提供）

参考写真－2②　大滝集落を望む。
昭和 30 年代前半（新国道や下の分校がまだない）　（高野英治さん提供）

参考写真－2③　大滝集落、昭和 51 年頃。
写真下は大滝地区、手前は下の大滝分校。
上は胡桃平地区、
赤い橋は現国道 13 号西川橋（3 代目）。
赤岩道から望む。（柾木新吉さん提供）

参考写真－2④　山に還る旧大滝集落。
左奥、現国道 13 号西川橋（朱色）。
その上に工事中の東北中央自動車道栗子トンネル（L=8972m）福島坑口が見える。
H241224



参考写真－2⑤　左側渡辺正義さん旧宅（旧中屋旅館）、
奥（八重桜）渡辺清治さん旧宅。
写真中央に鳳駕駐蹕之蹟と史蹟指定
記念碑。
手前左側高野英治さん旧宅跡（旧宮内屋
旅館）　H280503

参考写真－2⑥　渡辺清治さん旧宅（八重桜）を福島側から望む。
写真奥渡辺正義さん旧宅。H280503

もっともその山も東北中央自動車道の開通によりあとで述べるように大きく変わっているところもある。

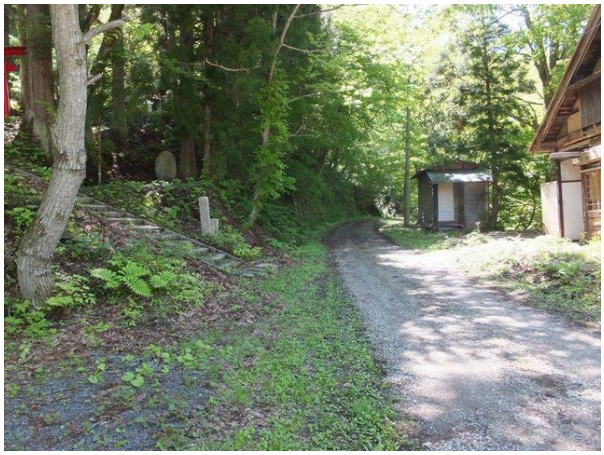
なお、大滝・葭沢（よしざわ）地区には数軒の廃屋が現在残存しているけれども、これらはすべて昭和 57 年 6 月頃から始められたといわれる個人経営観光施設（芝居小屋など）の一部であったものであるという。これらの観光施設は数年を経ずして廃止されているようだ。

さてバスは、午後 1 時前、大滝分校跡上り口に到着、懐かしい坂道を上り大滝分校グランド跡を通って、まずは大滝山神神社に詣でました。

（写真－4①～③、写真－5①～④、参考写真－3①～④）

写真－4①　大滝記念碑（旧大滝分校）入口　H281009

写真－4②　分校入口から大滝橋方向を望む。
旧国道 13 号（旧万世大路）、
現在市道（長老沢線）。



写真－4③　分校入口から胡桃平（長老沢地区）・
いら沢橋方向を望む。左側山神社参道。

写真－5①　大滝分校坂道。 みんなここを通学したんだね。

写真－5②　グランド跡

写真－5③　大滝山神神社参拝へ。

写真－5④　お賽銭

参考写真－3①　大滝分校（上）への坂道
（吉田トクさん提供・大滝会 HP より）

参考写真－3②　大滝分校（上）、宿舎跡に大滝記念碑がある。
（吉田トクさん提供・大滝会 HP より）

参考写真－3③　昭和 31 年大滝分校（上）。
青年団交流会（大滝・中野・大森）S310820
（高野英治さん提供）

参考写真－3④　大滝分校（上）、郵便配達のおじさんの見送り
S32.10.1（『なでしこ文庫』（移動貸本）配達）
（吉田トクさん提供・大滝会 HP より）

山神社では木村会長に合わせて全員で参拝しています。社会の安寧と大滝会の繁栄、皆様の健康と幸福を祈願しました（写真－5⑤⑥）。

写真－5⑤　大滝山神神社参拝　大滝会木村義吉会長

写真－5⑥　参拝当日の大滝山神神社　H300520

参拝後、参道の階段において全員で記念写真を撮りました（写真－6①～④）。

写真－6①　写真を撮りますよーっ、カメラを向いて！

写真－6②　大滝山神社前記念写真（新吉さん写り）
（柾木新吉さん提供）

写真－6③ 大滝山神社前記念写真（松美さん写り）（柾木新吉さん提供）

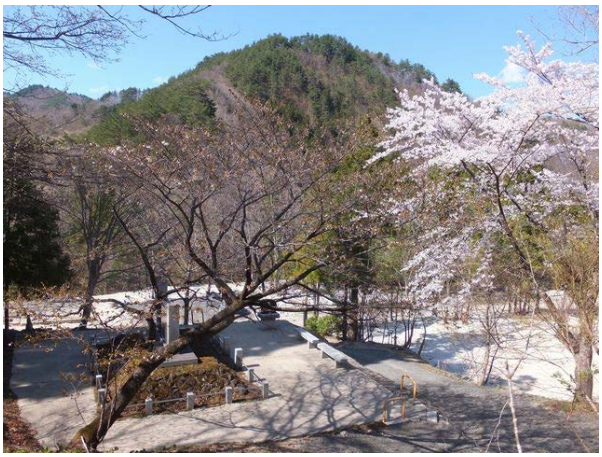
写真－6④ 山神社参道石段にて

なお、大滝山神神社の由来について関心のある方は**別添解説資料編Ⅰ「大滝山神神社（大山祇神社）について」**を参照してください。

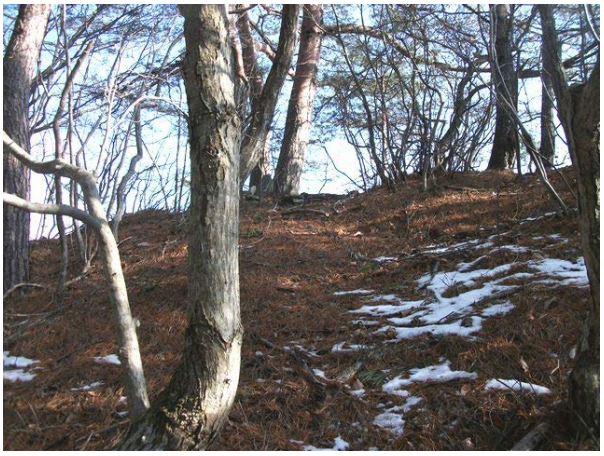
次にグランド跡にて、こぶがはら様（古峯ケ原山）にむかい物故者の御魂に黙祷を捧げました。**（写真－7 ①②、参考写真－4①～④）**。

写真－7 ①　物故者へ黙祷 （こぶがはら様遥拝）

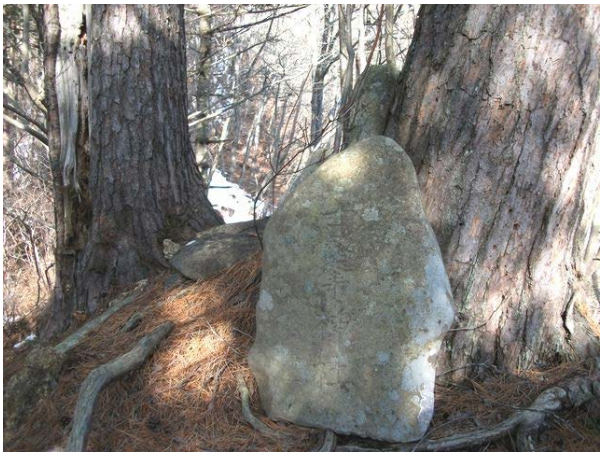
写真－7 ② 古峯ケ原山(こぶがはら様)、分校跡から望む。



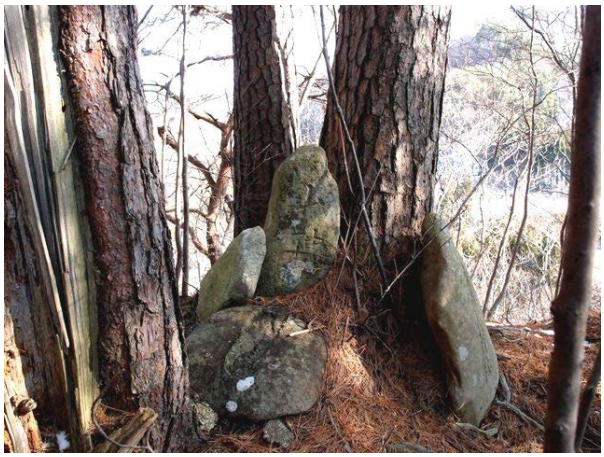
参考写真－4①　古峯ケ原山(こぶがはら様)と大滝記念碑
大滝分校跡(上)から望む。 H290428



参考写真－4②　参道からこぶがはら様を望む
(写真奥、松の大木の根元)。H241224



参考写真－4③　こぶがはら様　碑銘、古峯神社。
裏面明治四十三年旧七月吉日とあり。
後ろの石碑は山神様。 H241224



参考写真－4④ こぶがはら様(右)と山神様　H241223
(おばらさん提供)

なおご興味のある方は、こぶがはら様について下記関連サイトを参照してください。

・こぶがはら様探索　（当大滝会ＨＰ）

http://ootaki.xsrv.jp/page157.html

・古峯神社（通称：こぶがはら様）と山神神社旧社殿（当大滝会ＨＰ）

http://ootaki.xsrv.jp/page126.html

この後は、めいめいがそれぞれ 所縁（ゆかり） の場所に向かわれ、懐かし思い出話に花を咲かせていたようです。

下の大滝分校跡（昭和 36 年（1961 年）4 月新築落成～昭和 42 年（1967 年）3 月廃止）は、除染作業終了後（平成 28 年（2016 年）12 月）なので、繁茂していた雑木類が整理され更地になっておりました。この南側にある沢は大変冷たかったそうで、真夏でも長くは入っていられなかったという。沢には大きな岩があってそこでよく甲羅干しをしていたそうだがその大岩は流されたのか現在は見たらないようである（写真－7 ③、参考写真－5①～④）。

写真－7③　記念碑付近から下の分校跡を望む。
除染作業終了後なので整地されている。

参考写真－5①　大滝地区を望む。
手前下の大滝分校（昭和 36 年 4 月新築落成）（伊藤弘治さん提供、大滝会 HP より）

参考写真－5②　下の分校の運動会。写真左側、教員宿舎（現大滝記念碑設置箇所）。
S34.10 （柾木新吉さん提供）

参考写真－5③　除染前の大滝地区。
大滝橋から胡桃平方向を望む。 H261012

参考写真－5④　除染後の大滝地区。 大滝橋から胡桃平方向を望む。
大滝橋（L=10.55m、W=5.5m、S40.11 完）
H290428

上の大滝分校跡（明治 23 年（1890 年）2 月開設、以降廃止再開等あり、昭和 36 年 3 月まで、下に移転）から見える山々の風景も様変わりしている。久しぶりにこの地を訪れた方々にとっては、昨秋（平成 29 年 11 月 4 日）開通した E13 東北中央自動車道があたかも忽然と目の前に姿を現したように見えたに違いない。この山の中にはおよそ似つかわしくない鉄筋コンクリートの倉庫のような大きな建物が眼前にあり、何の為の建物か皆様には分からないようであった。その建物は、E13 東北中央自動車道の大滝チェーン着脱場の一郭（いっかく）にある大滝防災センター（除雪ステーション、除雪車を格納）である。因みに新しい栗子トンネル（L=8,972m）の中では「金属製チェーン」の装着が禁止されておりこの着脱場を利用してチェーンを取り外す事が必要になってくる（写真－8①②、参考写真－6①～⑤）。

写真－8①　大滝分校跡（上）から E13 東北中央自動車道防災センター（大滝チェーン着脱場）を望む。
下は大滝記念碑と副碑。柾木新吉さん提供

写真－8②　E13 東北中央自動車道大滝防災センター（大滝チェーン着脱場）。　大滝分校（上）より望む。

参考写真－6 ①　E13 東北中央自動車道大滝チェーン着脱場（防災ステーション）を福島側から望む。
橋は栗子跨道橋（L=28.6m）。
H291027 開通前

参考写真－6 ②　防災ステーション(大滝チェーン着脱場)
H291027 開通前

参考写真－6 ③　E13 防災ステーション（大滝チェーン着脱場）から旧大滝集落を望む。
左下の草原は大滝分校（下）跡。
H291027 開通前

参考写真－6 ④　E13 栗子トンネル（L=8,972m）福島側坑口。
右は避難用トンネル（L=8,989m）。
手前、新西川橋（L=77m）
H291027 開通前

参考写真－6 ⑤　E13 栗子トンネル（L=8,972m）
山形・福島県境、福島県側を望む。
（福島県分 L=5,417m、山形県分 L=3,555m）
H291027 開通前

話題が横道にそれるけれども、この大滝チェーン着脱場前では、昨秋の東北中央自動車道開通式の際に福島県側会場としてセレモニーがおこなわれている（今回の開通式は、福島・山形両県合同開通式として栗子トンネル米沢側坑口で最初に実施され、そのあと引き続いて福島県側会場と山形県側会場（米沢市）とに分かれてそれぞれ開通式が実施されている）。また。平成 20 年（2008 年）10 月 5 日の望郷 30 周年大滝出身者の集いの際には、工事中の大滝トンネルとこのチェーン着脱場付近を見学している。その場所は、前記防災センターの建設予定地付近で、日曜日にもかかわらず国土交通省の職員（吉田広幸建設監督官）がわざわざ出勤され工事状況の説明をしてくれた。その際に開通は約 10 年後と説明を受けた記憶があるけれども、その説明に違（たが）わず光陰矢の如しあっという間に時が経ちそれから 9 年後の平成 29 年（2017 年）11 月 4 日に開通したというわけである（参考写真－7①～⑤、参考写真－1⑥参照）。

参考写真－7①　東北中央自動車道全体開通式（福島山形両県合同セレモニー）
（山形河川国道事務所 HP）H291104

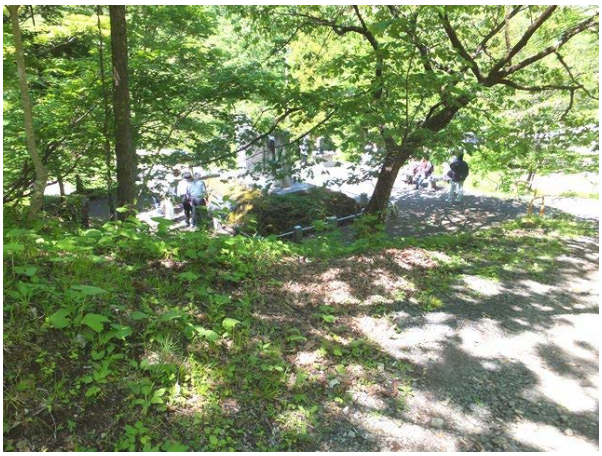
参考写真－7②　東北中央自動車道開通式（福島県側会場）
「バルーンリリース」。
大滝チェーン着脱場　H291104

参考写真－7③　福島県側開通式セレモニー
子供わらじの行進（中野小学校（旧大滝分校母校）生徒 25 人）
H291104（高野英治さん提供）

参考写真－7④　大滝会・大滝トンネル（写真中央奥）工事見学
大滝チェーン着脱場（防災センター）予定地にて
説明者：国土交通省吉田広幸建設監督官。
H201005

参考写真－7⑤　紅葉に映える完成した大滝トンネル（福島側坑口）。
のぼり旗はためくのも今日限り（30 周年記念大滝会工事見学箇所 H20.10.5）。H291104 開通日

参加者の皆様は、かつて通われた大滝分校には沢山の想い出を残されているようであるが、昭和 53 年（1978 年）10 月の大滝集落閉郷を記念し昭和 54 年 10 月 14 日に建立された「大滝記念碑」にも格別の思いがあるようである。ベンチも設置されていることもあり寛（くつろ）ぎなら多くの方々が昔を偲んでおられました。かつて教員の宿舎があったという大滝記念碑箇所、ここからは大滝集落のシンボルとも云える西川山を望むことができます。西川山に雪が 3 回降ると大滝集落にも本格的な冬が訪れると云います（写真－9①～⑤、参考写真－3②（再掲）、参考写真－8①②）。



写真－9①　分校跡から大滝記念碑と副碑を望む。

写真－9②　大滝記念碑（S541014 建立）

写真－9③　大滝記念碑副碑

写真－9④　大滝記念碑及び副碑にて

写真－9⑤　記念碑前から大滝のシンボル西川山（写真奥）を望む（3 等 3 角点、947m）。
山に 3 度雪が降ると集落も本格的な冬を迎えるという。

参考写真－3②(再掲)　大滝分校（上）、宿舎跡に大滝記念碑がある。
（吉田トクさん提供・大滝会 HP より）

参考写真－8①　西川山（947m）
H200406（伊藤弘治理事提供・
大滝会 HP より）

参考写真－8②　西川山から望む。　　S31.4（高野英治さん提供）

なお、大滝記念碑の由来について関心のある方は**別添解説資料編Ⅱ「大滝記念碑について」**を参照してください。

いつまでもお名残惜しい新緑の美しく懐かしい旧大滝集落であったけれども時間となり午後 2 時前、1 時間半ほどの滞在を終え戻ることとなりました。今回の機会を利用し集落内の旧宅を訪問されたり、墓参をおこなったりした方もおられたようである。

本日の記念祝賀宴会がおこなわれる奥飯坂「摺上亭大鳥」には、待機していただいた同じバスで向かいました（飯坂学習センター経由）。

その－2へ続く